



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

看護経済・政策研究学会 第30回研究会

テーマ：病や障害とともに生きる看護職の活用—ケアギバーとしての役割と共生社会への道

日時：3月21日(水)13:30~17:00

会場：東京情報大学看護実習棟(9号館)デモンストレーション室(千葉市若葉区)

プログラム：第一部「パネリストからの話題提供」加納佳代子(東京情報大学特命副学長〔看護学部担当〕・日本てんかん協会千葉県支部世話人〔当事者〕)、瀬戸山陽子(東京医科大学医学部看護学科看護情報学講師〔当事者〕)、中津真美(東京大学バリアフリー支援室特任助教)、仲村信一郎(国立職業リハビリテーションセンター上席障害者職業カウンセラー、臨床心理士)、栗原房江(前東京大学大学院経済学研究科 REASE [Research on Economy And Social Exclusion: 社会的障害の経済理論・実践研究]・聴覚障害をもつ医療従事者の会〔当事者〕)／第二部パネルディスカッション「病や障害とともに生きる看護職の活用について」パネリストと参加者間で討論(手話通訳、パソコン文字通訳)

参加費(資料代として)：非会員2000円、会員：無料

※参加費は当日会場で徴収

申し込み方法：下記の申し込みフォームから氏名・所属・連絡先(メールアドレス)および希望する合理的配慮(該当者のみ)を入力して送信(合理的配慮の申し出および問い合わせには折返し連絡。メールアドレスは必須)。

[申し込みフォーム]

<https://goo.gl/forms/vyJH6ObYX2GYussQ2>

問い合わせ：看護経済・政策研究学会

URL <http://jsnep.umin.jp/meeting/index.html#30th>

公益信託山路ふみ子専門 看護教育研究助成基金

第28回(平成30年度)
研究助成候補者募集要領

助成金交付予定額：1件150万円以内で、約20人に交付する予定。

助成金使用期限：大学院博士後期課程、または5年一貫博士課程の場合は修了予定日まで。博士課程修了後の研究生の場合は研究終了時まで。ただし、最長3年。

助成金の使用内訳に際しての制限：パソコン等のハード購入費は20万円以内／授業料・学会参加費・論文作成費(英訳を含む)・データ入力およびテープおこし等に対する謝金は助成対象としない。

応募資格：次の全ての条件を満たす者。①日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師、②国内または国外の大学院博士後期課程、または5年一貫博士課程の正規生。もしくは、博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中的者、③学識、人物ともに優秀でかつ健康であって、将来看護職の教育、指導または看護研究に携わると認められる者、④これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。※なお、給与収入(フルタイム)がある者、2019年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1・2年生は、原則として応募資格なし。

応募方法：以下①~④を踏まえ、所定の申請書1通を下記提出先に提出(志望者が、受託者宛に直接郵送)。①各用紙への記入はPC等活字入力(手書禁止)、②所定の申請書

以外に書かれたものは、審査対象としない。様式の変更、複数ページに記入した場合、応募は無効。印刷はA4用紙4枚・片面印刷(両面印刷不可)、③書類は返却しない、④申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード。

助成金受給者の義務：①研究成果の報告書(会計報告書を含む)を助成金使用期限までに当公益信託の受託者に提出、②学位論文完成時、研究生は研究終了時に、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出、③学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載、④当公益信託の運営委員会で研究成果の報告をすることがある。

申請締切日：3月23日(金)(当日必着)

審査結果通知：5月中旬頃

申請書の提出先・照会先：三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

☎ 03-5232-8910(平日9~17時)

FAX 03-5232-8919

URL <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

公益信託中西睦子看護学 先端的研究基金

平成30年度研究助成候補者
募集要領

助成金交付予定額：1件200万円以内で、約5人に交付する予定。

助成金使用期限：研究終了時まで。ただし、最長3年。

助成金の使用内訳に際しての制限：

①パソコン等のハード購入費は20万円以内、②授業料・学会参加費・論文作成費(英訳を含む)・データ入力およびテープおこし等に対する謝

金は助成対象としない。

応募資格：次の全ての条件を満たす者。①日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師、②修士・博士の学位を有する現場の看護職(個人またはグループ)で、実践の成果の可視化、もしくは理論化を図ろうとする研究を行おうとする者、③主たる申請者が科研費の申請資格がない者、④これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。

応募方法：以下①～④を踏まえ、所定の申請書1通を下記提出先に提出(志望者が、受託者宛に直接郵送)①各用紙への記入はPC等活字入力(手書禁止)、②所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式の変更、複数ページに記入した場合、応募は無効。印刷はA4用紙4枚・片面印刷(両面印刷不可)、③書類は返却しない、④申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード。

助成金受給者の義務：①研究成果の報告書(会計報告書を含む)を受給後3年以内に当公益信託の受託者に提出、②研究終了時に、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出、③研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載、④当公益信託の運営委員会で研究成果の報告をすることがある。

募集期限：3月23日(金)(当日必着)

審査結果通知：5月中旬頃

その他：①助成金は、指定の銀行口座等へ振り込む、②所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用および使用者の変更は認めない。

申請書の提出先・照会先：

三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

公益信託中西睦子看護学先端的研究基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

☎ 03-5232-8910(平日9～17時)

FAX 03-5232-8919

URL <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

第4回全国男性看護師会 交流集会

テーマ：日々の看護実践を探究しよう

日時：3月24日(土)11:00～17:30

会場：大田区産業プラザ(東京都大田区)

プログラム：シンポジウム「あらためて日々の看護実践を考える」臨床現場で活躍する男性看護師/グループワーク「あなたの看護実践をともに探究し、明日にいかそう」全国男性看護師会教育委員会

参加費：正会員1500円、サポート会員1800円、非会員2500円、学生：無料(学生会員および大学院生を除く)、懇親会5000円(別途)。※女性看護職も歓迎。詳細は下記URLを参照。

申し込み方法：下記URLより登録

問い合わせ：全国男性看護師会事務局(担当：前田、長谷川、上杉)。

〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1-1 三重県立看護大学内

✉ jnamn@mcn.ac.jp

URL <http://www.samurainurse.com/>

日本災害看護学会 第20回年次大会

テーマ：災害に立ち向かう看護のリーダーシップを探究する

日時：8月10日(金)～11日(土)

会場：神戸国際会議場(神戸市中央区)

参加費：

[事前登録]

会員1万円、非会員1万1000円

[当日登録]

会員1万1000円、非会員1万2000円、学生2000円

事前登録：4月5日(木)～6月20日(水)

演題募集：一般演題(口演・示説)、交流集会、ワークショップ

演題募集期間：2月20日(火)～4月17日(火)

問い合わせ：運営事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6F
サンプラネットメディカルコンベンション事業部内

☎ 03-5940-2614

FAX 03-3942-6396

✉ jsdn20@sunpla-mcv.com

URL <http://jsdn20.umin.jp>

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp